

北海道“いい川”づくり研修会

テーマ：多自然川づくりとは何か！



平成 18 年 10 月に示された「多自然川づくり基本指針」を受け、「多自然川づくり研究会」（座長：島谷幸宏）は、川づくりの考え方、計画、施工に関する技術等を示した「多自然川づくりポイントブック（Ⅰ～Ⅲ）」を作成してきました。また、平成 19 年から 24 年まで東京において開催型研修会を年 1 回開催してきました。その過程の中で、各地の河川特性を考慮した魅力ある川づくりを進めるため地域研修の要請が高まりました。

本研修会はこれまで推進されてきた北海道と全国の成果を踏まえて、さらなるスキルアップを目指し開催するものである。

■日時・会場 日時：2013 年 11 月 15 日・16 日 13 時から 18 時 （受付 12 時～13 時）
会場：栗山町（雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウスほか）
住所：栗山町字雨煙別 1 番地 4

■参加人数 研修会 80 名 現地視察 30 名（無料、先着順）
対象：行政、設計、施工業者、学生、市民・住民で川づくりに関心のある方
尚、多自然川づくりポイントブックを希望の方、販売も可能です（2,500 円）

■プログラム概要 （15 日）一部変更予定、敬称略

- 12:00 ～ 受付
- 13:00 ～ 開会の辞 歓迎挨拶 栗山町長 榎原 紀昭
趣旨説明 NPO 法人全国水環境交流会 代表理事 山道 省三
- 13:30 ～ 講演
①多自然川づくり全国の動向と 国土交通省 国土技術政策総合研究所
今後の方向及び北海道における課題 河川研究部 主任研究官 福島 雅紀
- 14:00 ～ 川を利用する側から考える川
①サケから川を考える 積丹町嘱託環境保全生態系技術指導員 河村 博
②川と地域の関係を考える NPO 法人雨煙別学校理事 高橋 慎
- 15:00 ～ 事例報告
①夕張川におけるショウドウツバメ保全と河川改修 北海道開発局札幌開発建設部江別河川事務所
②忠別川における多自然川づくり 北海道開発局旭川開発建設部旭川河川事務所
- 16:00 ～ 休憩
- 16:15 ～ パネルディスカッション ・コーディネーター 山道 省三
話題提供① 北海道における川づくりの現状 一社）流域生態研究所 妹尾 優二
話題提供② 宮崎県・岐阜県における“いい川”づくり推進のしくみ 山道 省三
- 16:45 ～ 討議 テーマ：全ての生き物にとって安全・安心な川づくり
パネラー：福島雅紀、河村博、高橋慎、江別河川事務所、旭川開発建設部、妹尾優二及び参加者全員
- 18:00 ～ 閉会の辞 北海道開発局札幌開発建設部河川計画課 岡部計画課長
- 18:10 ～ 懇親会（会費制） 自由参加 申し込み必要

* 妹尾優二写真展 河川技術者が語る“川と魚の世界” 同時開催

■プログラム概要 (16日) 現地視察

9:00 ~ 夕張川ショウドウツバメ営巣地保全と河川改修現地視察 (案内人: 妹尾優二)

守られたショウドウツバメ営巣地



石狩川水系最大級のショウドウツバメ営巣地、河岸の崩壊地に営巣するため河川構造的に問題が生じる。そのため、崩壊地の進行を軽減させながらの河川改修に挑戦。現在は、ショウドウツバメの営巣地確保と大きな河原の形成によって、かわ塾等人の利用も可能になった夕張川を紹介します。

10:30 ~ ハサンベツ里山計画地川づくり・手作り魚道など現地視察 (案内人: 高橋慎)

水に自由度を与えた川づくり



24ha の離農跡地を“人と自然が共生する里山”として再生した地区で、直線化した排水路の自然復元や魚類移動を可能にする魚道の設置、また、用水を利用したビオトープの形成などを全て町民の手によってつくられた。童謡が見える里山計画も実現し、環境学習の場として通年利用される北海道ならではの里山を紹介します。

12:00 ~ 閉会の辞 栗山町教育委員会 教育長 鈴木 紀元

昼食会 (会費制) 自由参加 申し込み必要 解散

- 主 催 特定非営利活動法人全国水環境交流会／一般社団法人流域生態研究所／
特定非営利活動法人雨煙別学校
- 共 催 社団法人栗山青年会議所／栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会／栗山町都市農村
共生・対流促進協議会
- 後 援 北海道開発局札幌開発建設部 (予定) ／栗山町

